日　新

学校教育目標
美しい心
輝く知性
たくましい体

都留第二中学校 学校だより
第　6　号
令和４年９月２２日（木）
文責　校長　梶原　満

＜石花海祭（9 月 10 日）：オンライン開祭式・文化の部・体育の部・閉祭式＞

今年だけの特別な「石花海祭（せのうみさい）」　～ コロナ禍を乗り越えて ～

「今年の石花海祭は，思い出に残る最高の石花海祭になりました。」ある生徒の感想です。

9 月 10 日（土），「第５５回石花海祭」を開催しました。過去 2 年間の貴重な経験を生かして，新たな視点で臨みました。生徒会執行部を中心に準備を進め，オンライン配信とグランド参集の併用によるハイブリッド形式です。文化の部・体育の部は，ともにグランドで行いました。

オンラインでの「開祭式」では，ビデオ動画などの開会行事や学級旗の紹介を実施。午前の「文化の部」では，全校制作（モザイクアート）の披露や，各学年が工夫を凝らした学年発表，吹奏楽部が演奏を披露し，それぞれが精一杯の表現をしていました。午後の「体育の部」では，感染症対策に対応した独自のルールのもと，学級・学年・全校でエネルギーを感じる競技が繰り広げられました。被服室では，「平和」をテーマにした文化部の展示も開催されていました。

生徒会執行部や 3 年生がリーダーシップを見事に発揮しました。全校生徒が一丸となってつくりあげた「新たな歴史」は，必ず今後につながる「一日」になったと確信しました。

校 長 室 レ ポ ー ト　～ スタッフ紹介②　二中を支える専門職３名 ～

今回は，養護教諭の糸谷美心先生，事務職員の髙鳥詩乃先生，栄養教諭の内海杏珠先生を紹介します。まず，糸谷先生は「保健室の先生」として皆さんの健康安全について，専門的な知識をもとに丁寧に対応してくれます。事務職員の髙鳥先生は，生徒の皆さんがより良い環境で生活するために，教材や学校設備全体の予算調整，発注などを行う学校事務のスペシャリストです。安全で栄養のある給食や食教育を担当する内海先生は，都留一中が配属校で本校は兼務です。

３名とも，専門的な立場で私たちを様々な面から支援する，頼りになるスタッフです。

令和４年度「全国学力・学習状況調査」の結果から　～ 本校の傾向は ～

４月１９日（火），「全国学力・学習状況調査」が実施されました。対象は全国の中学校３年生です。本校の３年生も国語・数学・理科・質問紙調査の４種類の調査に挑戦しました。

本校の調査結果の概要をお伝えします。＜４月の段階であるため，あくまでも参考資料です＞

＊国語：「知識・技能」は正答率が高い反面，「話の展開を理解する力」が低い傾向にある。

＊数学：「一次関数」などで正答率が高かったが，「基本事項の定着」の点で全体的に弱い。

＊理科：「グラフを読み取る力」は比較的高かったが，「記述式」などの設問で正答率が低い。

＊質問紙調査（本校の特徴的なものを抜粋）：

・「難しいことでも，失敗を恐れずに挑戦する」への肯定的回答は 80%以上。（大きな強み）

・「学級での話し合いやルールづくり」の肯定的回答が非常に高い。（望ましい学級集団）

・「弱み」：ゲームやスマートフォンの使用時間が非常に長いため，学習時間が大きく不足。

これからの時代，持っている知識だけでは…　～ キーワードは「活用」～

時代は超スマート社会（Society5.0），つまり，インターネットや情報機器等を活用して，私たちの生活がより快適で便利になる社会のことです。事実，生活の中にＡＩ（人工知能）や情報通信技術が組み込まれ，年齢や地域を問わず，めざましいスピードで様々なことができるようになっています。ドローンを使っての遠隔地への物資配達，医療施設やデイサービスでの介護ロボットの活躍，ＡＩ・ビッグデータを駆使した正確な気象予報の実現などです。

一方で，今後数十年の間に現在の職業の半分以上は消滅しているといった，衝撃的な予測も出されています。「急激かつ多様に変化する社会をどう生き抜くか」これが大きなテーマです。そうした中，私たちに求められるのは，従来の知識重視の形ではなく，その持っている知識を，いかに活用していくかです。自動車の運転免許，取得したあと運転する機会がない人と，毎日運転している人では，違いは明らかです。教師の授業にも変化や意識改革が求められています。そして，大学入試も変化しています。正解が一つではない入試問題が増えています。次の質問はある有名私立大学の入試問題（英語）です。「ある星から宇宙人が地球へやってきて，地球人に質問しました『きみたちの星には，なぜたくさんの国があるのですか？』この問いにあなたなりの考えを英語で書きなさい。」　また，右の挿絵は，東京大学の２次試験の問題（英語）です。「絵に描かれた状況を自由に解釈し，40～50 語の英語で答えよ」。一人一人の思考力や表現力が求められる問題です。

中学校の授業も変化します。２年前から始まった学習指導要領の重点の一つ「主体的・対話的で深い学び」の点から，生徒に「思考力・判断力・表現力」をつけさせることが求められます。現在は感染症対策で思うように進まない面もありますが，本校ではＩＣＴの活用等，教職員が様々な工夫をして【質の高い授業】を目指します。